

東京電機大学大学院理工学研究科規則

平成22年3月9日

規 4 第 82 号

第1章 総 則

(趣旨)

第1条 この規則は、東京電機大学大学院学則（以下「大学院則」という。）第3条第2項に基づき、理工学研究科（以下「本研究科」という。）の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的、学年及び学科、教育課程、課程修了の要件その他大学院則施行上必要な事項を定める。

（人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的）

第2条 本研究科は、急速に進化する科学技術と多様化する価値観に対応できる研究者・高度専門科学技術者・職業人の養成を目的とする。そのために、理工学の専門分野における基礎力を強化すると共に、専門の教育・研究を通して他分野を眺められる広い視野を涵養する教育研究を行う。

すなわち、知識を集積するだけでなく、問題意識を持ち、自ら考え、問題解決能力、応用力を養う教育を実践し、創造性豊かな人材を養成する。

2 本研究科の各専攻における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

(1) 理学専攻は、応用分野の広さから現代の科学技術社会の理論的支柱となっている理学諸分野において、物事を論理的に考察し、柔軟に対応できる研究者・高度専門科学技術者・職業人の養成を目的とする。そのために、数理科学・物質化学の分野から、専門的知識・技術の涵養をはかるとともに、論理的思考力が身に付くような教育研究を行う。

すなわち、将来の科学技術社会の理論的支柱となり、更なる発展へ本質的に貢献できる人材を養成する。

(2) 生命理工学専攻は、生命現象に関する種々の謎の解明や人類の直面する諸問題（医療問題、環境問題、食糧問題など）の解決に対応できる研究者・高度専門科学技術者・職業人の養成を目的とする。そのために、生命理工学分野における基礎力を強化するとともに、専門性の深化を図る教育研究を行う。

すなわち、各専門分野の細分化が進む前記の諸問題に、深い教養と学際的な視点から取り組むことのできる人材を養成する。

(3) 情報学専攻は、情報技術の進歩に伴いますます発展し多様化する高度情報化社会の要請に応え、その基盤となる情報学の発展に貢献できる研究者・高度専門技術者・職業人の養成を目的とする。そのために、理工学から社会科学・人文科学の領域にまで拡大し

た学際的な学術分野である情報学の各分野の、分野横断的・文理複合的な教育研究を行う。

すなわち、幅広い専門知識をもち、多角的で総合的な判断能力と問題解決能力を有する高度かつ先端的な人材を養成する。

- (4) 機械工学専攻は、機械工学を基盤として、科学技術の進歩とその変革、産業の拡大などに伴い多様化する高度技術社会に対応できる研究者・高度専門科学技術者・職業人の養成を目的とする。そのために、機械工学の基礎力の強化と共に応用力が身につく教育研究を行う。

すなわち、学際的な専門知識と技術力を持って、社会に貢献できる創造性豊かな人材を養成する。

- (5) 電子工学専攻は、電気・電子工学を基盤として、科学技術の進歩とその変革、産業の拡大などに伴い多様化する高度技術社会に対応できる研究者・高度専門科学技術者・職業人の養成を目的とする。そのために、電気・電子工学の基礎力の強化と共に応用力が身につく教育研究を行う。

すなわち、学際的な専門知識と技術力を持って、社会に貢献できる創造性豊かな人材を養成する。

- (6) 建築・都市環境学専攻は、建築、土木工学、都市環境学などの専門知識をもとにして、社会が要請する都市づくりや建築に柔軟に対応できる研究者・高度専門科学技術者・職業人の養成を目的とする。そのため、建設分野の基礎力を強化するのみならず、人間、社会、環境に配慮できる建設技術を身につけられる教育研究を行う。

すなわち、専門知識のみならず、多様な価値観に配慮して自ら問題を解決することができる創造性豊かな人材を養成する。

第2章 学年及び学期

(学年・学期)

第3条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 学年を次の2つの学期に分ける。

前学期 4月1日から9月4日まで

後学期 9月5日から翌年3月31日まで

第3章 教育課程

(授業科目・単位等)

第4条 本研究科における授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

第4章 成績及び修了

(成績評価・単位認定)

第5条 本研究科は大学院則第23条に基づき、科目の成績評価を行う。

2 本研究科における、成績評価及びGP (Grade Point) は、次の評点区分に基づき行う。

評点	成績評価	GP (Grade Point)
90～100	S	4
80～89	A	3
70～79	B	2
60～69	C	1
0～59	D	0
放棄	—	0

(修士課程修了の要件)

第6条 本研究科において修士課程を修了するには、2年以上在学し、自由科目を除き、所要科目30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた業績をあげた者については、1年以上の在学で修了を認めることができる。

第5章 改正

(改正)

第7条 この規則の改正は、本研究科委員会の議を経なければならない。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この規則は、平成23年3月8日に第4条別表第1(理工学研究科の授業科目及び単位数)を改正し、平成23年4月1日から施行する。
- 3 この規則は、平成24年3月13日に第5条を追加し、次条以下を繰り下げ、第4章、第4条別表第1(理工学研究科の授業科目及び単位数)を改正し、平成24年4月1日から施行する。

ただし、平成23年度以前に入学された者の成績評価及びGPA (Grade Point Average) ポイントの評点区分については、第5条第2項の定めに係らず、次のとおりとする。

評点	成績評価	GPAポイント
90～100	S	5
80～89	A	4
70～79	B	3
60～69	C	2
0～59	D	0
放棄	—	0

4 この規則は、平成24年4月10日に第2条（人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的）、第4条別表第1（理工学研究科の授業科目および単位数）を改正、第6条第2項（修士課程修了の要件）を削除し、平成25年4月1日から施行する。ただし、平成24年度以前に入学した者における修士課程修了の要件については、第6条の定めにかかわらず、修士課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができるものとする。

（東京電機大学大学院理工学研究科修士課程デザイン工学専攻の存続に関する経過措置）
大学院理工学研究科修士課程デザイン工学専攻は改正後の第2条、第4条別表1および第6条の規定にかかわらず、平成25年3月31日に当該専攻に在学する学生が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

5 この規則は、平成26年3月11日に第4条別表第1（理工学研究科の授業科目及び単位数）を改正し、平成26年4月1日から施行する。

6 この規則は、平成27年3月24日に第4条別表第1（理工学研究科の授業科目及び単位数）、第6条を改正し、平成27年4月1日から施行する。

7 この規則は、平成27年3月24日に第5条（成績評価・単位認定）を改正し、平成27年4月1日から施行する。

8 この規則は、平成28年3月8日に第2条（人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的）、第3条第2項（学年・学期）、第4条別表第1（理工学研究科の授業科目及び単位数）を改正し、平成28年4月1日から施行する。

9 この規則は、平成29年3月14日に第4条別表第1（理工学研究科の授業科目及び単位数）を改正し、平成29年4月1日から施行する。

10 この規則は、平成30年3月13日に第4条別表第1（理工学研究科の授業科目及び単位数）を改正し、平成30年4月1日から施行する。

11 この規則は、平成31年2月26日に第3条（学年・学期）第2項、第4条別表第1（理工学研究科の授業科目及び単位数）を改正し、平成31年4月1日から施行する。

12 この規則は、令和2年3月10日に第4条別表第1（理工学研究科の授業科目及び単位数）を改正し、令和2年4月1日から施行する。

13 この規則は、令和3年3月9日に第2条（人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的）第2項第4号を削除し以下号数を繰り上げ、同項新第4号及び新第5号を追加し以下号数を繰り下げ、第4条別表第1（理工学研究科の授業科目及び単位数）を改正し、令和3年4月1日から施行する。

14 この規則は、令和4年3月1日に第4条別表第1（理工学研究科の授業科目及び単位数）を改正し、令和4年4月1日から施行する。

15 この規則は、令和5年3月14日に第4条別表第1（理工学研究科の授業科目及び単位数）を

改正し、令和5年4月1日から施行する。

16 この規則は、令和6年3月5日に第4条別表第1（理工学研究科の授業科目及び単位数）を改正し、令和6年4月1日から施行する。

17 この規則は、令和7年3月4日に第4条別表第1（理工学研究科の授業科目及び単位数）を改正し、令和7年4月1日から施行する。

18 この規則は、令和8年3月24日に第4条別表第1（理工学研究科の授業科目及び単位数）、第5条（成績評価・単位認定）を改正し、令和8年4月1日から施行する。

別表第1 理工学研究科の授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
数学解析特論 A		2		
数学解析特論 B		2		
代数学特論 A		2		
代数学特論 B		2		
幾何学特論 A		2		
幾何学特論 B		2		
解析学特論 A		2		
解析学特論 B		2		
代数幾何学特論 B		2		
整数論特論 A		2		
整数論特論 B		2		
数理システム特論		2		
ロボストシステム特論		2		
情報数学特論		2		
人工知能特論		2		
離散構造特論		2		
応用確率統計特論		2		
確率の情報処理特論		2		
画像理解特論		2		
数理論理学特論		2		
計算理論		2		
情報科学特論		2		
情報理論特論		2		
計算機ネットワーク特論		2		
計算量理論特論		2		
情報数理特論		2		
数理学セミナー I		1		同じ部門のセミナー I・II、特別研究 I・II の単位を修得すること
数理学セミナー II		1		
数理学特別研究 I		4		
数理学特別研究 II		4		
溶液化学特論		2		
反応化学特論		2		
電気化学特論		2		
有機合成化学特論		2		
高分子合成化学特論		2		
錯体化学特論		2		
無機材料化学特論		2		
生体活性有機化合物論		2		
植物細胞工学		2		
物性物理学特論		2		
光物理学特論		2		
物理学特論 A		2		
物理学特論 B		2		
物理学特論 C		2		
物理学特論 D		2		
物質科学輪講 I		2		
物質科学輪講 II		2		
物質科学セミナー I		1		同じ部門のセミナー I・II、特別研究 I・II の単位を修得すること
物質科学セミナー II		1		
物質科学特別研究 I		4		
物質科学特別研究 II		4		
化学熱力学特論		2		
理学インターンシップ		2		
理工学特論 A		2		
理工学特論 B		2		
国際化バリエーション・エンジニアリング特論		2		
先端バリエーション・エンジニアリング特論		2		
教職インターンシップ			1	
海外サイエンス・プログラム		2		
アカデミック・プレゼンテーション		2		
アカデミック・ライティング		2		
研究者倫理		2		
科学技術社会論		2		
環境マネジメント特論		2		

生命理工学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
生理活性有機化合物論		2		
生体組織工学		2		
生体システム科学		2		
合成生物学特論		2		
バイオデータ解析		2		
生命科学セミナー I		1		同じ部門のセミナー I・II、特別研究 I・II の単位を修得すること
生命科学セミナー II		1		
生命科学特別研究 I		4		
生命科学特別研究 II		4		
食品バイオ工学		2		
植物細胞工学		2		
生体高分子特論		2		
微生物工学		2		
食品タンパク質化学特論		2		
生物制御化学特論		2		
環境工学概論		2		
生物環境セミナー I		1		同じ部門のセミナー I・II、特別研究 I・II の単位を修得すること
生物環境セミナー II		1		
生物環境特別研究 I		4		
生物環境特別研究 II		4		
化学熱力学特論		2		
物性物理学特論		2		
生命理工学インターンシップ		2		
理工学特論 A		2		
理工学特論 B		2		
国際化 ^ハ イテクニカル・エンジニアリング ^ク 特論		2		
先端 ^ハ イテクニカル・エンジニアリング ^ク 特論		2		
教職インターンシップ			1	
海外サイエンス・プログラム		2		
アカデミック・プレゼンテーション		2		
アカデミック・ライティング		2		
研究者倫理		2		
科学技術社会論		2		
環境マネジメント特論		2		

情報学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
組込みシステム特論		2		
情報理論特論		2		
暗号理論特論		2		
信号処理特論		2		
計算量理論特論		2		
図形処理特論		2		
情報数理論		2		
情報システム特別演習 I		0.5		同じ部門の特別演習 I・II・III・IV、特別研究 I・II の単位を修得すること
情報システム特別演習 II		0.5		
情報システム特別演習 III		0.5		
情報システム特別演習 IV		0.5		
情報システム特別研究 I		4		
情報システム特別研究 II		4		
インテレクトチュアルヒストリー特論		2		
知能情報処理特論		2		
言語・非言語情報特論		2		
科学技術コミュニケーション特論		2		
情報倫理学特論		2		
音楽とデザイン特論		2		
知能と認知特論		2		
画像理解特論		2		
認知科学特論		2		
人間工学特論		2		
情報と物質特論		2		
情報デザイン特別演習 I		0.5		同じ部門の特別演習 I・II・III・IV、特別研究 I・II の単位を修得すること
情報デザイン特別演習 II		0.5		
情報デザイン特別演習 III		0.5		
情報デザイン特別演習 IV		0.5		
情報デザイン特別研究 I		4		
情報デザイン特別研究 II		4		
情報数学特論		2		
数学解析特論 A		2		
数学解析特論 B		2		
グラフィックデザイン特論		2		
情報産業特論		2		
計算機ネットワーク特論		2		
ゲームと計算特論		2		
アルゴリズム特論		2		
言語モデル特論		2		
連続最適化特論		2		
数理システム特論		2		
ロボストシステム特論		2		
データ工学特論		2		
離散構造特論		2		
人工知能特論		2		
応用確率統計特論		2		
確率の情報処理特論		2		
数理論理学特論		2		
情報学インターンシップ		2		
理工学特論 A		2		
理工学特論 B		2		
国際化ハイクオリティ・エンジニアリング特論		2		
先端ハイクオリティ・エンジニアリング特論		2		
教職インターンシップ		2		
海外サイエンス・プログラム		2		
アカデミック・プレゼンテーション		2		
アカデミック・ライティング		2		
研究者倫理		2		
科学技術社会論		2		
環境マネジメント特論		2		

機械工学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
先端材料特論		2		
材料力学特論		2		
応用力学特論		2		
材料工学特論		2		
工作機械システム特論		2		
熱工学特論		2		
流体工学特論		2		
気体力学特論		2		
機械耐震工学特論		2		
計測工学特論		2		
データサイエンス概論		2		
加工プロセス特論		2		
機械設計解析特論		2		
航空宇宙工学特論		2		
工業技術標準特論		2		
ロボティクス特論		2		
制御工学特論		2		
機械要素特論		2		
熱流体機械特論		2		
数値解析特論		2		
ロボット工学特論		2		
工業数学特論		2		
機械システムセミナー I		1		
機械システムセミナー II		1		
機械システム特別研究 I		4		
機械システム特別研究 II		4		
機械工学インターンシップ		2		
理工学特論 A		2		
理工学特論 B		2		
国際化ハイクオリティ・エンジニアリング特論		2		
先端ハイクオリティ・エンジニアリング特論		2		
教職インターンシップ			1	
海外サイエンス・プログラム		2		
アカデミック・プレゼンテーション		2		
アカデミック・ライティング		2		
研究者倫理		2		
科学技術社会論		2		
環境マネジメント特論		2		

電子工学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
医用電子機械工学特論		2		
機能設計工学特論		2		
生体情報工学特論		2		
レギュラトリーサイエンス特論		2		
薄膜材料工学特論		2		
マイクロバイオロジー工学特論		2		
システム制御特論		2		
計測システム工学特論		2		
パワーエレクトロニクス特論		2		
電磁場計測特論		2		
ヒューマンロボティクス特論		2		
システムLSI特論		2		
福祉工学特論		2		
品質工学特論		2		
バイオメカニクス特論		2		
再生医工学特論		2		
生体計測工学特論		2		
生体医工学概論		2		
応用電子工学セミナーⅠ		1		
応用電子工学セミナーⅡ		1		
応用電子工学特別研究Ⅰ		4		
応用電子工学特別研究Ⅱ		4		
電子工学インターンシップ		2		
理工学特論A		2		
理工学特論B		2		
国際化バリエイタル・エンジニアリング特論		2		
先端バリエイタル・エンジニアリング特論		2		
教職インターンシップ			1	
海外サイエンス・プログラム		2		
アカデミック・プレゼンテーション		2		
アカデミック・ライティング		2		
研究者倫理		2		
科学技術社会論		2		
環境マネジメント特論		2		

建築・都市環境学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
応用水理学特論A		2		
応用水理学特論B		2		
環境流体力学特論		2		
建築設備特論		2		
橋梁維持管理特論		2		
有限要素法特論		2		
構造設計特論		2		
鋼構造学特論		2		
振動論		2		
鉄筋コンクリート工学特論		2		
メンテナンス工学特論		2		
地盤工学特論		2		
地盤防災工学特論		2		
地震防災工学特論		2		
空間情報特論A		2		
空間情報特論B		2		
交通計画学特論		2		
プロジェクト評価特論		2		
宇宙工学特論		2		
防災学特論A		2		
防災学特論B		2		
建築意匠学特論A		2		
建築意匠学特論B		2		
建築設計演習A		4		
建築設計演習B		4		
建築インターンシップ		4		
建築・都市環境学インターンシップ		2		
建設環境デザイン工学セミナーⅠ		1		
建設環境デザイン工学セミナーⅡ		1		
建設環境デザイン工学特別研究Ⅰ		4		
建設環境デザイン工学特別研究Ⅱ		4		
理工学特論A		2		
理工学特論B		2		
国際化ハイクオリティ・エンジニアリング特論		2		
先端ハイクオリティ・エンジニアリング特論		2		
教職インターンシップ			1	
海外サイエンス・プログラム		2		
アカデミック・プレゼンテーション		2		
アカデミック・ライティング		2		
研究者倫理		2		
科学技術社会論		2		
環境マネジメント特論		2		